



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月10日

上場会社名 株式会社プラザホールディングス 上場取引所 東

コード番号 7502 URL <http://www.plazaholdings.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大島 康広

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 堤 俊之 TEL 03-3532-8812

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	14,126	6.3	134	161.3	112	38.8	81	51.5
2025年3月期第3四半期	13,293	3.1	51	—	80	—	53	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 73百万円 (29.5%) 2025年3月期第3四半期 56百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	35.04	—
2025年3月期第3四半期	22.75	22.73

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2026年3月期第3四半期	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	11,544	2,189	19.0	940.37
2025年3月期	11,624	2,220	19.1	957.35

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 2,188百万円 2025年3月期 2,219百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	1.9	350	4.0	280	△27.9	200	△27.5	84.99

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有  
新規 1社 (株式会社Rolife Japan)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	2,439,433株	2025年3月期	2,439,433株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	111,890株	2025年3月期	120,640株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	2,325,305株	2025年3月期 3Q	2,364,164株

(注)期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、従業員向け株式交付信託（RS信託）が保有する当社株式が含まれております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、T D n e t で開示するとともに、当社ホームページにも掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(企業結合等関係)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が進むなど、緩やかな回復基調で推移したものの、米国の通商政策の動向や地政学的リスクの高まり、長引く物価上昇による消費マインドの低下など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような事業環境において、当社グループは引き続き、モバイル事業の継続的成長と、パレットプラザをはじめとしたイメージング事業の新たな収益の柱となる事業の創出に積極的に取り組んでまいりました。

モバイル事業においては、スマートフォンの値上がりによる買い替えサイクルが長期化しておりスマートフォンの販売台数が伸び悩む一方で、SIMのみの回線契約が増えたことにより、回線獲得総件数は前第3四半期連結累計期間と比較して増加しました。また、低価格機種から中位価格機種への販売に注力した結果、販売単価が上昇し、前第3四半期連結累計期間と比較して売上高は増収となりました。新たなストック収入となっている販売後利用サポートのサブスクリプションサービスを案内し、加入者が順調に増えていることから、売上総利益は、前第3四半期連結累計期間と比較して増加しました。一方で、当第3四半期連結累計期間においては、店舗外での販売イベントも集客力のある開催場所を選定したうえで引き続き開催しましたが、通信キャリア会社のインセンティブ施策の見直しにより回線契約件数の目標には到達できず、イベント開催費用を賄うことができませんでした。

なお、当第3四半期連結累計期間末における店舗数は、72店舗となっております（前連結会計年度末79店舗、前第3四半期連結累計期間末82店舗）。

デジタルデバイスや周辺ソリューションへの企業ニーズが高まってきていることから、当社の店舗に来店される法人顧客に対しましては、法人営業部門が端末の販売に加え、企業のDX推進をサポートしてまいりました。

以上の結果、モバイル事業の業績は、増収、微増益となりました。

イメージング事業においては、「パレットプラザ」の年賀状プリントが、Webサービスを含む当社チェーン店全体の販売枚数は457万枚（既存店前年同期比72.6%）と長く親しまれてきた年賀状も生活スタイルや連絡手段の変化に合わせて見直す、いわゆる「年賀状じまい」もあり減少しました。それに対して販売・プロモーション施策の改定により、年賀状プリントの当社チェーン店全体売上高は既存店前年同期比87.6%となりました。また、国連教育科学文化機関（ユネスコ）などが発した「マグネットィック・テープ・アラート」（ビデオテープなど磁気テープに記録された映像が、テープの劣化や再生機器の生産終了により、2025年を目安に見られなくなる可能性を指す問題）により当社が提供する「なんでもダビング」サービスに受注が殺到して、引き続きサービス提供が追い付かない状況となっております。

なお、パレットプラザの店舗数は、当第3四半期連結累計期間末には、フランチャイズ店舗146店、直営店舗14店となりました（前連結会計年度末フランチャイズ店舗157店、直営店舗は12店、前第3四半期連結累計期間末フランチャイズ店舗162店、直営店舗は13店）。

つくるんです事業は、新規に取引を開始した量販店でのインバウンド需要を取り込むことができ販売が好調でした。

パーソナル・ミーティング・ボックス「One-Bo（ワンボ）」の販売については、テレワークからオフィス出社へ回帰が進むなかでもオンライン会議が定着したことにより好調に推移しております。引き続き販売体制と製品ラインアップを強化してまいります。

以上の結果、イメージング事業の業績は、増収、増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、141億26百万円（前年同期比6.3%増）、営業利益1億34百万円（前年同期比161.3%増）、経常利益1億12百万円（前年同期比38.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益81百万円（前年同期比51.5%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント別における概況と業績は次のとおりであります。

①イメージング事業

「パレットプラザ」の「なんでもダビング」、つくるんです商品の売上高が好調に推移したことにより、売上高は30億円（前年同期比10.6%増）、セグメント損益は28百万円の利益（前年同期：1億7百万円の損失）となりました。

②モバイル事業

スマートフォンの回線獲得件数が増加したことと、新たな収益源の獲得などにより、売上高は111億26百万円（前年同期比5.2%増）、販売イベントの収益が悪化したなどによりセグメント利益は2億92百万円（前年同期比：0.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産の額は、115億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ79百万円の減少となりました。主な要因は、現金及び預金が4億80百万円増加し、受取手形及び売掛金が6億3百万円、流動資産その他が92百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債の額は、93億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ48百万円の減少となりました。主な要因は、短期借入金が1億44百万円、流動負債その他が90百万円増加し、支払手形及び買掛金が2億96百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産の額は、21億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ31百万円の減少となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益81百万円、配当金の支払額1億21百万円などにより利益剰余金が40百万円減少したことによるものであります。また、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末の19.1%から19.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月12日に公表いたしました連結業績予想の現時点における修正はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	1,682,989	2,163,161
受取手形及び売掛金	2,264,627	1,661,547
商品及び製品	2,108,330	2,265,503
原材料及び貯蔵品	220,192	214,079
その他	1,158,307	1,065,595
貸倒引当金	△45,208	△45,208
流动資産合計	7,389,239	7,324,680
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,952,603	1,967,895
減価償却累計額	△1,081,513	△1,099,637
建物及び構築物（純額）	871,089	868,257
機械装置及び運搬具	746,116	744,954
減価償却累計額	△676,669	△690,903
機械装置及び運搬具（純額）	69,446	54,051
土地	1,511,248	1,511,248
リース資産	1,200,228	1,268,087
減価償却累計額	△1,109,908	△1,113,521
リース資産（純額）	90,320	154,565
その他	835,303	851,158
減価償却累計額	△619,993	△631,133
その他（純額）	215,310	220,024
有形固定資産合計	2,757,415	2,808,148
無形固定資産		
のれん	164,057	130,275
その他	119,031	107,364
無形固定資産合計	283,089	237,640
投資その他の資産		
敷金及び保証金	982,340	952,358
その他	303,104	313,017
貸倒引当金	△90,741	△91,170
投資その他の資産合計	1,194,703	1,174,206
固定資産合計	4,235,207	4,219,995
資産合計	11,624,447	11,544,675

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	1,579,627	1,282,634
短期借入金	3,419,425	3,563,924
リース債務	27,419	42,338
未払法人税等	11,962	3,796
賞与引当金	103,294	51,319
株式報酬引当金	19,790	14,572
その他	796,447	887,340
流動負債合計	5,957,967	5,845,925
<b>固定負債</b>		
長期借入金	3,028,351	3,040,191
リース債務	69,279	130,279
退職給付に係る負債	22,124	22,124
資産除去債務	134,548	133,363
長期預り保証金	160,844	155,838
その他	31,132	27,893
固定負債合計	3,446,280	3,509,689
<b>負債合計</b>	<b>9,404,247</b>	<b>9,355,615</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	665,957	665,957
利益剰余金	1,681,542	1,641,074
自己株式	△239,079	△221,651
株主資本合計	2,208,419	2,185,379
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	11,480	3,381
その他の包括利益累計額合計	11,480	3,381
<b>新株予約権</b>	300	300
<b>純資産合計</b>	2,220,199	2,189,060
<b>負債純資産合計</b>	<b>11,624,447</b>	<b>11,544,675</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	13,293,462	14,126,738
売上原価	8,439,869	8,787,188
売上総利益	4,853,592	5,339,549
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	549,183	598,318
給料手当及び賞与	1,484,719	1,479,682
賞与引当金繰入額	53,852	50,690
雑給	137,069	158,380
賃借料	548,027	543,791
支払手数料	1,301,139	1,402,184
のれん償却額	29,737	36,847
その他	698,437	935,273
販売費及び一般管理費合計	4,802,167	5,205,168
営業利益	51,425	134,381
営業外収益		
受取利息及び配当金	6,066	8,586
協賛金収入	698	395
償却債権取立益	7,750	3,500
助成金収入	508	36,480
為替差益	13,543	—
有価証券運用益	32,825	6,489
保険解約返戻金	12,211	—
その他	19,573	12,603
営業外収益合計	93,177	68,054
営業外費用		
支払利息	55,080	78,093
為替差損	—	1,110
シンジケートローン手数料	8,000	9,117
その他	553	1,694
営業外費用合計	63,634	90,016
経常利益	80,968	112,420
特別利益		
固定資産売却益	15,402	18,809
特別利益合計	15,402	18,809
特別損失		
減損損失	23,199	18,848
店舗閉鎖損失	11,102	19,618
貸倒引当金繰入額	—	429
特別損失合計	34,302	38,896
税金等調整前四半期純利益	62,068	92,333
法人税、住民税及び事業税	11,377	9,657
法人税等調整額	△3,086	1,204
法人税等合計	8,291	10,862
四半期純利益	53,777	81,471
親会社株主に帰属する四半期純利益	53,777	81,471

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	53,777	81,471
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,903	△8,099
その他の包括利益合計	2,903	△8,099
四半期包括利益	56,680	73,372
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	56,680	73,372
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	203,626千円	205,307千円
のれんの償却額	29,737千円	36,847千円

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	イメージング 事業	モバイル事業	計		
売上高					
物品売上	2,080,824	9,891,989	11,972,814	—	11,972,814
手数料、使用料等収入	333,687	688,026	1,021,714	—	1,021,714
顧客との契約から生じる収益	2,414,512	10,580,016	12,994,528	—	12,994,528
その他の収益	298,533	400	298,933	—	298,933
外部顧客への売上高	2,713,045	10,580,416	13,293,462	—	13,293,462
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	2,713,045	10,580,416	13,293,462	—	13,293,462
セグメント利益又は損失 (△)	△107,277	291,813	184,536	△133,110	51,425

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△133,110千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△303,277千円及び当社とセグメントとの内部取引消去170,166千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

## (固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、廃棄及び退店を決定した固定資産について帳簿価額を回収可能価額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、前第3四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「イメージング事業」において5,069千円、「モバイル事業」において18,129千円であります。

## (のれんの金額の重要な変動)

イメージング事業において、前第3四半期連結累計期間に株式会社BY THE PARKの株式を取得及び株式交換により完全子会社化したことで、新たにのれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において148,221千円であります。

## II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	イメージング 事業	モバイル事業	計		
売上高					
物品売上	2,438,419	10,443,823	12,882,242	—	12,882,242
手数料、使用料等収入	284,440	678,177	962,617	—	962,617
顧客との契約から生じる収益	2,722,859	11,122,000	13,844,860	—	13,844,860
その他の収益	277,305	4,572	281,877	—	281,877
外部顧客への売上高	3,000,165	11,126,572	14,126,738	—	14,126,738
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	3,000,165	11,126,572	14,126,738	—	14,126,738
セグメント利益	28,466	292,224	320,690	△186,309	134,381

(注) 1. セグメント利益の調整額△186,309千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△303,545千円及び当社とセグメントとの内部取引消去117,235千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

## (固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、廃棄及び退店を決定した固定資産について帳簿価額を回収可能価額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当第3四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「イメージング事業」において7,750千円、「モバイル事業」において11,098千円であります。

## (企業結合等関係)

## 企業結合に係る暫定的な会計処理の確定

2024年8月30日に行われた株式会社BY THE PARKとの企業結合について前連結会計年度において暫定的な会計処理を行なっておりましたが、第2四半期連結会計期間において確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴う金額の変動はありません。